

# SHONORITIES

シヨノリティーズ

## アンサンブル

### A Glimpse of Japan

ちらりと外から見る日本

声、アンサンブル  
そして  
エロクトロニクスのための  
音楽と二十世紀の  
古典の作品

【札幌公演】

2007.11.28(水)19:00 札幌コンサートホール kitara (小ホール)

【釧路公演】

2007.11.30(金)19:00 釧路市民文化会館 (小ホール)



■主催：Shonorities Productions, 芳柳 寿々良 日舞の会

■後援：カンタベリークライストチャーチ大学 (英国)・大和日英基金・グレートブリテン・ササカワ財団

## ごあいさつ

日本伝統文化の象徴、そして美意識の一つでもある侘<sup>わび</sup>、寂<sup>さび</sup>は、現在でも世界中で数多くの芸術家達のインスピレーションとなっています。

今回のショノリティーズアンサンブルのコンサートタイトル「ちらりと外から見る日本」は、このけA Glimpse of Japanずり落としたものから生まれる美を、創作の意欲とする過去、現在の作曲家達の作品の数々から構成されております。

現代の海外作曲家達が日本の文化と芸術の心を彼らなりに熟考し、このコンサートの為に作曲して下さいました3作品と古典作品のミックスプログラム。そして、釧路公演では私の母、芳柳寿々良に参加していただき、音楽コンサートにとどまらず、舞という素晴らしい日本舞台芸術の世界に招いて下さることに、心から感謝しております。カンタベリークライストチャーチ大学、大和日英基金、そして、グレイトブリテン・ササカワ財団の後援により今回の初公演が実現可能となりました。

これらの後援団体の方々、そして今回、ご来場下さいました皆様に深くお礼申し上げます。

しょうじ しえ  
東海林 史絵

## プログラム

### 作曲家

宮城道雄

吉沢検校

メイ-ケイ ヤオ  
May-Kay Yau

バジル アサナシアディス  
Basil Athanasiadis

ロデリック ワトキンス  
Roderick Watkins

### 曲目

春の海

古典舞踊

千鳥の曲 (釧路公演のみ)

桜の木の下で  
(新作)

アナミスィス  
Anamnis

鐘の声  
(新作)

### 休憩

モーリスラヴェル  
Maurice Ravel

安彦善博

アルヴォ ペート  
Arvo Pärt

バジル アサナシアディス  
Basil Athanasiadis

マダガスカル島民の歌

風韻

鏡の中の鏡  
Spiegel in Spiegel

ファンタースマタ  
Fantasmata (新作)

宮城道雄  
(1894~1956)

## 春の海

古典舞踊  
吉沢検校  
(1800~1872)

## 千鳥の曲

(釧路公演のみ)

メイ-ケイ ヤオ  
May-Kay Yau  
(1980~)

田中春花 (歌詞)  
桜の木の下  
(新作)

バジル アサナシアディス  
Basil Athanasiadis  
(1970~)

## アナミス

Anamnis  
(ピアノソロ)

ロデリック ワトキンス  
Roderick Watkins  
(1964~)

松尾芭蕉 / 与謝蕪村 (3つの俳句)  
鐘の声  
(新作)

箏曲家・作曲家。神戸の生まれ。7歳で失明し、箏曲家、中島検校に入門。洋楽の形式に邦楽を融合させた新日本音楽を作曲、新楽器十七弦、八十弦を創始。この名曲「春の海」は父親の故郷である福山市鞆の浦からインスピレーションを受けて創作したもの。このパフォーマンスではピアノとヴァイオリンの為にアレンジされている。

江戸後期の箏曲家。千鳥の曲は古今組の一。古今集、金葉集の歌に前弾きと手事とをつけたもの。箏曲の中でも、傑作といわれるこの名曲に、京舞の気品があます事無くおりこまれた舞の極致。

香港生まれの若手女性作曲家。香港パフォーミングアーツアカデミーを卒業後、英国のロンドン王立アカデミーで作曲を専攻。今回の新曲は、春に恋人を待ちわびる心を題材とし、桜が満開のとても美しい季節の日本のイメージを、シンプルなメロディーモチーフを用いて表現した4曲。

私は村上春樹の「ノルウェーの森」を読んだ後にアナミス (ギリシャ語で回想) を作曲した。この小説の中で、主人公が飛行機の中で聞いていた1曲の歌が彼を20年前にあった出来事を思い出させるという場面があり、私はこの曲のオープニングに使った五音符メロディーをくり返し、さらにさまざまなライトモチーフの形にして作品全体に用いることによって、回想的な感覚を伝えることにつとめた。

日本の鐘のイメージを表現した3つの俳句をテキストに使い、日本語のテキストのイントネーションと著しいリズム、そして、鐘の持つさまざまな音色をこの作品のハーモニーの素材としている。

又、ソフトウェア `Modalys` で作りあげたエレクトロニクスの鐘の音をバックグラウンドとして演奏に融合する、ロデリック ワトキンスは英国人作曲家、そしてカンタベリークライストチャーチ大学の作曲科の学長をも現在つとめる。

モーリス ラヴェル

Maurice Ravel  
(1875~1937)

(詩)エヴァリスト パルニー  
Evariste Parny

マダガスカル島民の歌  
Chansons Madécasses

フランスの作曲、ドビュッシーの印象主義の影響を受けつつ、精緻で独特の新古典的作風を示す。この作品は1925年に富裕なアメリカ人女性の依頼によって作曲されたもの。南の島マダガスカルを背景にした官能的な詩から構成されており、この中で特に印象的な2曲目の「A<sup>お</sup>oua!」。フランスの植民地であったマダガスカルに対し、初演の頃は、反植民地主義内容の歌詞の為に大論争が起きたという。ラヴェルはこの歌曲の創作について「シンプルである事が最も大切である」と記している。

安彦 善博  
(1951~)  
風 韻

ピアノ、ヴァイオリン、そしてフルートの為のこの作品は自由で対話的な記譜によっておもむきを作り出しており、特に第2と第4楽章(全5楽章)はほとんどが、演奏者の即興的な要素がこの曲のベースとなっている。

アルヴォ ペート  
Arvo Pärt  
(1935~)

鏡の中の鏡  
Spiegel in spiegel

この作品は、ミニマルミュージック派の作曲家ペートが、教会の鐘と彼の誕生地エストニアの広大なスペースをイメージとして作曲したといわれている。

チェロとヴァイオリンのパートは曲名通り、鏡に映った鏡のように音階を上下に奏すというとてもシンプルな構成となっている。

ペートは彼の音楽の世界を次のように語っている。「私の音楽は、あらゆる色を含む白色光に喩えることができよう。プリズムのみが、その光を分光し、多彩な色を現出させることができる。」

バジル アサナシアディス  
Basil Athanasiadis  
(1970~)

(新作) ファンタースマタ  
Fantasmata

ファンタースマタはギリシャ語で亡霊を意味する。この作品は村上春樹の短編小説「鏡」からのテキストを抜粋し、狂言と能で使われるスピーチパターンとリズム様式を取り入れている。怖いお化けの曲というより、誰ももの心にたびたびおとずれる不安、驚き、恐怖感、又、安堵といったある一定の精神状態を我々の亡霊として表現した作品。

# Words-Setting

## 桜の木の下で

作曲:メイ・ケイ・ヤオ  
歌詞:田中春花

(1)春になったら 一緒に来ようね  
あなたは私に言った言葉 覚えている?  
まだ、桜がはだか木だった 去年の真冬  
二人で桜並木を歩いた時にした約束 あ～

(2)ねえ、あとどれくらい待ったら  
あなたに会えるのだろう  
もう会えないんじゃないかって  
不安に押しつぶされそうで切ない  
あなたに合いたくて桜に願いを込めた  
合いたくて会えない夜 あなたを思う  
大切にされていた思い出ばかり

(3)時を越えて会いに来て  
どんな時も強く抱きしめて  
どんなにそばにいるよと言われても  
ぬくもりをここに残したまま あなたは  
抱きしめられないくらい遠くにいる  
距離をこえられずにいる  
距離をこえてあなたは会いに来てくれる  
どんな時も私を 抱きしめて来てくれる

(4)今、二人 桜並木に見守られ  
あなたの肩にもたれて目をとじたら  
きつく抱きしめて とても心安らいた  
あなたと笑える幸せ  
どうか変わらず続くように

## 鐘の声

作曲:ロデリック・ワトキンス  
俳句:松尾芭蕉・与謝蕪村

鐘消えて 花の香は 鐘く夕哉(芭蕉)  
涼しさや 鐘をはなるる かねの声(蕪村)  
釣鐘に とまりて眠る 胡蝶かな(蕪村)

## 「ナアンドーヴ」<sup>Nahandove</sup>

— マダガスカル島民の歌 —  
Chansons madecasses 詩:パルニー  
モーリス・ラヴェル Maurice Ravel (1875~1937) フランス

ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ  
夜の鳥がさえずり始めたよ  
真ん丸のお月様が頭の上に昇り  
夜霧でぼくの髪の毛は濡れてしまった  
ほら、時間が来たよ どうして来ないんだい  
ナアンドーヴ?  
おお 可愛いナアンドーヴ

木の葉のベッドの準備はできている  
花と良い香りの干草で飾ったんだ  
きみの魅力にふさわしいようにね  
ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ

あのこはやってきた。足早にやってくる  
荒い息遣いをぼくは感じるんだ  
それに腰布の衣擦れが聴こえる  
あのこだ。ナアンドーヴが来た。  
可愛いナアンドーヴが!

息を静めて、いとしい人よ、ぼくのひぎの上で  
おやすみ、なんてすてきな瞳だろう。  
そしてきみのドキドキする胸  
押し当てたぼくの手ひらの下でなんて生き  
生きしてるんだろう! この微笑み、  
ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ!

きみのくちづけは、ぼくの心の底までとろかせ  
きみの愛撫は、ぼくの体を燃え立たせる、もう  
やめて。ぼくは死にそうだ。喜びのあまりに死  
んでしまうよ  
ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ

幸せな時は稲妻のように過ぎ去り、きみの甘い  
吐息も静かになった  
潤んだ瞳は閉じられて、きみの頭も疲れてぐっ  
たりしている。  
恍惚感はけだるさの中に消え去ったああ、最高  
だったよ。  
ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ

おまえはもう帰ってしまう。ぼくは寂しさと物  
足りなさで苦しい  
きっとまた陽が沈む時まで悲しいだろう  
今晚もまたきてくれるよね  
ナアンドーヴ、おお可愛いナアンドーヴよ

# Words-Setting

## 「おーい」

— マダガスカル島民の歌 —

Aoua! Chansons madecasses 詩：バルニー  
モーリス・ラヴェル Maurice Ravel (1875~1937) フランス

アウアー(おーい)！、アウアー(おーい)！  
海岸に住む白人たちに気をつける  
俺たちの親父の代から  
やつらはここに住み始めた  
親父達はやつらにこう言った  
「土地がここにはたくさんある  
女達に耕せる土地だ  
公平に、親切に、そして仲間になろう」

白人達は約束した。  
それなのにやつらは塹壕を掘り  
俺たちをおびやかす砦を築いた  
そして弾が込められたのだ  
青銅の大砲の中に  
やつらの神父たちは押し付けようとした  
俺たちの知らない神様とやらを  
そしてついにやつらは迫ってきた  
服従して奴隷となれと

ならば死を選ぶ方がまだ  
戦いは長く、恐ろしかった  
だが やつらの嵐のような砲撃  
皆殺しにしようとした砲撃にもかかわらず  
やつらは最後には壊滅した  
アウアー(おーい)、アウアー(おーい)  
海岸に住む白人達に気をつける

新しい侵略者たちがまたやってきた  
より強く、よりたくさん数の白人達が  
海岸に新しいテントを張った  
天がわれらに味方し  
嵐を起し、雨を降らせ  
毒を持った風を吹き付けた  
やつらはいなくなり、われらは残った  
また自由な暮らしが始まる  
アウアー(おーい)、アウアー(おーい)  
海岸に住む白人達に気をつける

## 「休息」

— マダガスカル島民の歌 —

Il est doux Chansons madecasses 詩：バルニー  
モーリス・ラヴェル Maurice Ravel (1875~1937) フランス

こんな暑い日の午後には  
木陰で寝そべるのが最高だ  
ここで夕暮れの風が涼しさを運んでくるのを  
待つとしよう

女たちよ、ここへ来て  
木陰で安らぐ私のもとで  
私の耳を素敵な音楽で満たしてくれ  
もう一度歌っておくれ  
乙女たちの髪を梳く歌や  
田んぼの鳥たちを追い払う乙女の歌を

歌声は心を喜ばせ  
踊りはまるでキスのように甘い  
足取りは穏やかに  
そして喜びを表してくれる  
恍惚で我を忘れるかのように

そよ風が吹いてきた  
月も山の上に輝いている  
さあ、これから夕ごはんのしたくだ

## ファータースマタ

作曲：バジル アサナシアディス  
歌詞：村上春樹  
短編小説「鏡」からの抜粋

でも、見える？ ゆうれい、もやもや心  
月、出ていない  
苔の色  
扉の音が、聞こえる  
映った  
風はますます、空気はますます  
鏡！  
暗闇の中…姿が見える  
鏡の中、眠れない、眠れない、眠れない。

# SHONORITIES Profile



## 東海林 史絵 (Shie Shoji) メゾソプラノ / Artistic Leader

釧路市出身。英国トリニティ音楽大学、王立ウェールズ音楽大学で声楽専攻。サー・ゲラント奨学金付与。オペラ「Les Indes Galante」ツィマ役、「カルメン」メルセデス役、「アルバート・ヘリング」ナンシー役、「ミカド」カティシャ役等を演じる。ミュージカル「ミス・サイゴン」の英国ツアー公演出演。現代音楽では、昨年、新作品「芸者の子唄」アサナシアデイス作曲、「夜床も荒るらむ」フィッカーラ作曲を英国、日本で公演し好評を得る。近年、National Reis Opera (オランダ)のアンサンブルとして「トゥーランドット」「ボリスグドノフ」等のオペラに出演。

## ギャリス ハンソン (Gareth Hanson) フルート



ロンドン王立音楽アカデミーで、Jamie Martin, Michael Cox, Karen Jonesの各氏に師事。The All Flute Plus Prize, the Nicholas Blake Prize, the Helen Read Prize と数々の賞を受賞。2002年には、the Albert Cooper コンペティションのフルート部門で優勝。それに続いて英国クイーンエリザベスホールでソロリサイタルデビュー。また、ロイヤルオペラハウス(コヴェントガーデン)、English Music Festival 等でチャンパーリサイタルの演奏会にも数多く出演。St. John's Smith Squareで演奏した、J.S.バッハのブランデンバークコンチェルトNo.4は批評家の賞賛を受ける。



## ステリオス ハジオシフィディス (Stelios Chatjiosifidis) ヴァイオリン

The New Conservatory of Thessaloniki, ロンドン王立音楽アカデミーにてLydia Mordkovich, Erich Gruenberg各氏に師事。オナシス奨学金付与。ロンドンのウィグモアホール、St. Martin in the Fields, ポリヴァールホール等でチャンパーリサイタル出演。オーケストラのメンバーとして、Sir Colin Davis, Sir Charles Mackerras, Bernard Haitinkの指揮のもとで、ギリシャ、イギリス、スコットランド、イタリア、日本など世界各国での演奏公演に出演。サウスバンクシンフォニアのメンバーとしてソロイストとしても演奏。

## キャロライン スツラム (Caroline Szram) チェロ



英国Suffolk出身。トリニティ音楽大学でNaomi Butterworthに師事。在学中、the friends of Junior Trinity Prizeを受賞。ウィグモアホール、パーセルルーム等での公演に出演。ザ・シンフォニアのプリンシパルチェロを経て、the Britten Pears オーケストラメンバーとしても活躍。スペインツアーではソロイストとして、エルガーコンチェルト、チャイコフスキー・ロココ・ヴァリエーションを演奏。昨年にブリティッシュコロンビア大学から奨学金を受け、Eric Wilson, Nan Mackie各氏に師事をえて卒業。



## アレクサンダー スツラム (Aleksander Szram) ピアノ

ポーランド人の両親のもと、英国で生まれる。今までに20カ国以上の国々でソロイスト、コンチェルト、チャンパー音楽の演奏者として活躍している。トリニティ大学でDouglas Finch氏に師事。在学中 TCM Trust 銀メダル、the Wilfred Stiff Prize the Vlado Perlemuter Award 等、数多くの賞を受賞。現代音楽のレパートリーに特に興味を持ち、数々のワールドプレミアの作品を演奏している。近年、ドイツレーベルFonorumからデビュー作「Into the 21st Century」がリリースされた。

## バジル アサナシアデイス (Basil Athanasiadis) 作曲家 / Music Director



ギリシャ出身。ナショナル コンサバトリー オブ アテネ、トリニティ音楽大学、ロンドン王立音楽アカデミーで作曲専攻。G.V ターナー・クック賞受賞。彼の作品の数々はロンドンシンフォニエッタ、BBC Singers、アムステルダムロキ スターダスト クォーテット、モンドリン クォーテット等により演奏されている。ピアノデュオ「タブスイコード ピミューズ」、ソロピアノ曲「アナムニシス」がCDリリースされており、昨年はユナイテッドミュージック出版社から、オルガン・ソロヴァイオリン曲「ノッツ」がリリースされた。



## 芳柳 寿々良 (Suzuryo Yoshiyanagi)

現在、日舞アカデミー、日芸芸術学院芳柳流、芳柳寿々之助家元認定師範を得て師歴11年。過去、藤門流にて国立大劇場公演出演。芳柳流に於いて東京浅草公会堂、京都南座等での公演にも出演。毎年釧路で行う公演の他に北海道各地で行われる公演に参加。師範として釧路で現在活躍中。